

# 令和3年度白馬村農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

## 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当村は、長野県の北西部にあり、北アルプスを背にして標高700mの高地に位置する積雪寒冷地です。

このような地域特性のもと、本村では零細な水稲依存の農業が行われてきました。

現在も地域農業は水稲中心に行われていますが、担い手への利用集積が進んでおり、農業法人等による、主食用米、転作作物として、そば、大豆を中心に新たな高収益作物等の取組みが進められています。

一方で、山間集落を中心に、農業従事者の高齢化や農家戸数の減少が顕著であり、中山間地域等直接支払・多面的機能支払制度等により維持を図っていますが、将来に向けた水田の維持が課題となっています。

## 2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当地域の夏場の冷涼な気候を利用した作物生産に取り組む。また、基盤整備完了田における高収益作物の作付けは、担い手農家への農地の集約化を図ると共に機械化によるコスト削減を進め、白ネギ、業務用野菜（ジュース用トマト、キャベツ、たまねぎ）、ブルーベリー等の導入により収益性の向上に取り組む、令和5年度から4haの畑地化を図る。

## 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

農業法人等、地域の担い手農家に農地の利用集積・集約化を図り、高収益作物等の導入による、畑地化を進める一方、遊休荒廃農地防止のため、村が認定した担い手農家にそばの作付けを委託し、生産性の向上を図り、農地の維持・管理を進める。

## 4 作物ごとの取組方針等

### (1) 主食用米

認定農業者等の、地域の中心となる経営体への農地の利用集積を推進し、効率的な作業体系の確立及び生産性の向上を図る。

主食用米の需要に見合った適正生産を進め、消費者ニーズにあった主食用米の作付けを推進する、また、当村の知名度を生かした白馬村産米のブランド化に取り組む。

大規模なほ場整備事業が進められている地域においては、農業の近代化を図りながら、農地の集約化によるコスト低減を進める。

### (2) 備蓄米

### (3) 非主食用米

ア 飼料用米

イ 米粉用米

ウ 新市場開拓用米

## エ WCS用稲

## オ 加工用米

主食用米とは別枠の生産で、非主食用による転作作物として農業者の要望により生産拡大を図り、低コスト栽培の技術導入を進める。

### (4) 麦、大豆、飼料作物

農業法人等の、地域の中心となる経営体への農地の利用集積を推進し、効率的な作業体系の確立及び生産性の向上を図る。

また、本村に適した品種や生産性向上のための技術を検討するとともに、適期播種・適期収穫による品質の向上に取り組む。

### (5) そば、なたね

農業法人等の、地域の中心となる経営体への農地の有効活用を推進し、効率的な作業体系の確立及び生産性の向上を図る。

また、土壌診断に基づく適正な施肥管理等により、品質・生産性の向上に取り組む。

「そばの里白馬」をキャッチフレーズに、地域特産物としての確立を図る。

### (6) 高収益作物

「地産地消」を推進し、村内で生産された安全で新鮮な農産物を提供するため、農産物直売所との連携強化を図るとともに、学校給食、村内飲食施設等での消費拡大に取り組む。

アスパラガス、トマト(中玉トマト、ミニトマト含む)、白ネギ、スイートコーン、ジャガイモ、イチゴ、業務用野菜ジュース用トマト・たまねぎ・キャベツ・ニンジンについては、重点作物として進め、ブルーベリー、りんご、ぶどう、食用ほうずき、にんにく、枝豆、りんどう、ヒマワリ(切り花)、アスター(切り花)、ウド等については園芸振興作物として振興して行く。

令和2年度から整備を進めた圃場整備事業に伴う高収益作物の導入を地域の中心経営体への集約により令和3年度より取組み、令和5年度4haの作付けを行い農地の畑地化を進める。

## 5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	令和5年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	417	416	416
備蓄米			
飼料用米			
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲			
加工用米			
麦		0.3	1.0
大豆	25.8	29.7	31.0
飼料作物			
・子実用とうもろこし			
そば	113.91	114	114
なたね			

高収益作物	7. 5 1	9. 1 0	1 3. 6
・野菜	6. 4 1	8. 0 0	1 2. 3
・花き・花木	0. 3	0. 3	0. 3
・果樹	0. 8	0. 8	1. 0
・その他の高収益作物			
その他			
・〇〇			
畑地化			4

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	そば	農地の有効活用による生産性の向上支援	農地の有効活用	(R2年度) 113.91ha	(R3年度) 114ha (R5年度) 114ha
2	麦・大豆	農地集積による生産性の向上支援	農地集積拡大	(R2年度) 25.78ha	(R3年度) 30ha (R5年度) 32ha
3	アスパラガス、トマト、(中玉トマト、ミニトマト含む)白ネギ、スイートコーン、ジャガイモ、イチゴ、業務用野菜(ジュース用トマト、たまねぎ、キャベツ、ニンジン)	地域重点作物支援	作付け面積の拡大	(R2年度) 6.4ha	(R3年度) 7.6ha (R5年度) 11.5ha
4	ブルーベリー、りんご、ぶどう、食用ほうずき、にんにく、落花生、枝豆、りんどう、ヒマワリ、アスター、うど	地域振興作物支援	作付け面積の拡大	(R2年度) 1.1ha	(R3年度) 1.5ha (R5年度) 2.1ha
5	そば(基幹)	そばの取組(地域の取組に応じた配分の対象)	支払い対象面積	(R2年度) 113.91ha	(R3年度) 114ha (R5年度) 114ha
6	麦、大豆、そば、野菜、花き・花木、果樹(基幹)	転換作物拡大加算	支払い対象面積	(R2年度) 0ha	(R3年度) 6.59ha (R5年度) 4.0ha
7	高収益作物(野菜、花き、花木、果樹)	高収益作物拡大加算	支払い対象面積	(R2年度) 1.5ha	(R3年度) 1.29ha (R5年度) 4.0ha